



日本ブラインドマラソン協会 JBMA 会報

発行所 特定非営利活動法人 日本ブラインドマラソン協会
 〒113-0033 東京都文京区本郷2丁目9番8号 本郷朝風ビル5F
 ホームページ：http://www.jbma.or.jp/
 TEL/FAX：03-3814-3229 E-mail：info@jbma.or.jp
 発行責任者：澤木 啓祐 / 編集責任：事務局

神宮外苑大会は、40回を迎え国立競技場で開催！ 研修会も再開、コロナ禍に負けず、頑張りましょう！

令和4年度定例理事会・総会報告

5月29日(日) 令和4年度の定例理事会・社員総会が、連合会館(東京)で開催されました。

開会に先立ち、羽毛田会長より「東京2020パラリンピックでの好成績や日常の協会活動など、協会は着実に前進してきた。今後も、普及・育成活動など地道な活動を進め、ノーマライゼーションの実現を目指した活動の定着に向けて努力してほしい」との挨拶があり、「協会活動の原点に立ち返り、協会の基盤事業であるブラインドマラソン・ウォークの普及・発展のための諸事業を、感染防止を最優先に置きながら慎重に運営し、コロナ禍で失われた活動機会の回復を目指すとともに、協会目的のノーマライゼーション社会の実現に繋げる」との活動方針を含め、令和3年度活動報告と令和4年度事業計画が承認されました。また、役員任期満了に伴い、令和4・5年度の役員として次の新体制が承認されました。

理事・監事			
会長	羽毛田 信吾		
理事長	澤木 啓祐		
副会長	松井 純子		
理事	八木 陽平	安田 享平	
	在田 宗悟	日隈 広至	
	中山 敏郎	河 幹夫	
	中田 崇志	西内 克己	
	野澤 正子	志田 淳	
	岡村 正広	渡邊 恵美子	
	星 祐子	野口 みずき	
	監事	吉田 秀博	西田 昌弘
	石井 隆士		

研修会報告

「伴走者養成研修・視覚障がい者マラソン研修会(掛川)」報告 (日本財団パラスポーツサポートセンター助成事業)

9月23日(金)〜24日(土)の二日間、静岡県掛川市の「つま恋彩の郷」において、伴走者養成研修・視覚障がい者マラソン研修会が三年ぶりに開催されました。昨年・一昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を断念せざるをえませんでした。

当日は、台風に伴う悪天候のため、スケジュールや内容を大幅に変更しました。ツインルームの一人利用や講習時のゆとりある座席配置の他、講義中の換気タイムの設定や頻繁な手指消毒と検温など、万全の感染防止対策を施しての実施でした。

18名という例年より少ない人数でしたが、新潟県、長野県、埼玉県、東京都、静岡県、神奈川県、京都、静岡県、神奈川県、の6都県から参加され、実技と講義だけでなく、食事や移動など生活場面での介助体験や参加者同士による情報交換会の時間など、有意義な研修会となりました。



荒天をはねのけ、無事終了!



登り坂でもシンクロ

「伴走者養成研修会 東京（第一回）」報告

今年度第一回目の伴走者養成研修会が、6月19日（日）に全国障害者福祉センター（戸山サンライズ）において開催されました。最高気温が29度に達する6月としては大変暑い日でしたが、総勢35名の参加者が、感染防止対策の中、熱心に活動に取り組みました。座学では「視覚障がい者の理解」「視覚障がい者の介助法や伴走の基礎理論」「ブラインドラマソンの規則」などについて学んだのち体育館へ移動して、アイマスク着用による伴歩や伴走体験、視覚障がい者との伴走体験など、実際に体験をしながら伴走技術を学びました。



金メダリストを伴走



ゆとりある座席配置



厚い中、お疲れさまでした

「伴走者養成研修会（札幌）」報告

伴走者養成研修会（主催：北海道札幌視覚支援学校）が、9月19日（月・祝）に北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センターにおいて開催されました。地元の伴走グループ「伴走フレンドリー」の協力の下、総勢49名の参加者による研修会でした。伴走経験者、伴走未経験者に加え、札幌視覚支援学校の小学部児童や保護者、教師の他、北海道マラソンに出場したブラインドランナーなど、多彩な参加者による研修会となりました。

当協会からは、講師とゲスト協力を派遣し、研修室での座学では伴走・伴歩の基本理論や競技規則などを学びました。その後、ゲストスピーカーの米岡聡選手（東京パラリンピックトライアスロン銅メダリスト、協会強化指定選手）と青山由佳さん（東京パラリンピック金メダリスト道下美里選手のガイドランナー）による、貴重なトークショーが、リモート形式で行われました。現在マラソンの強化に取り組む米岡選手と、伴走のために自身の競技力向上に余念のない青山さんのお話に、皆さんうなずきながら聞き入っていました。トークの最後には、道下選手のサブライズ出演もあり、会場は大いに盛り上がりました。

その後、雨天のため体育館で実技を行いました。二人並んでの脚合わせ歩行にはじまり、アイマスクを着用しての伴歩・伴走練習など、皆さん最後まで熱心に取り組んでいました。

なお、東京と札幌研修会は、公益財団法人山田昇記念財団の助成を受けて開催され、参加者には財団特製の伴走ビブスと伴走ロープが提供されました。

世界中からアスリートが集い、熱い戦いを繰り広げた昨年の東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを受け継ぎ、オリンピック・パラリンピックのコースを一部取り入れた新たなコースで「北海道マラソン2022」が開催されました。

比較的アップダウンの少ないコースでしたが、日差しや風を遮るものがなくなる20km地点から12km弱続く、折返し地点を含んだ新川沿いの直線と、38km付近からの細かい曲がり角が多い北海道大学内をうまく走りきれるかがレースのポイントとなりました。

北海道マラソン2022

大会報告

男子の部を制したのは、トラック競技でも強さを発揮している和田伸也選手（T11、長瀬産業）で、2時間30分切りでの優勝を目標に掲げ挑みましたが、レース後半では、徐々にペースを上げてきた一般女子の部トップを行く山口遥選手（AC・KITA）と並走する形でゴールを目指しました。山口選手は伴走者としても活躍する仲間です。互いの存在は良い刺激となり、苦しい最終盤の粘りを生みました。和田選手は2時間29分50秒の大会記録で優勝。山口選手も並ぶようにゴールし、念願のMGCチケットを掴みました。「山口さんと切磋琢磨して一緒に2時間30分を切れてよかった」（和田選手）。こんな形で競い、高め合えるのは、部門を越えて同時にスタートするマラソンならではの光景でしょう。



リモート・トークショー



多様な参加者が集合



大会記録更新し優勝! 和田信也選手



3連覇達成! 道下美里選手

女子の部は道下美里選手（T12、三井住友海上）が大会記録を更新する3時間7分23秒で3連覇を果たしました。「疲れて足がフラフラになったが、二人のガイドがバッチリだったので良い流れで最後まで粘れた」（道下選手）。そう振り返った伴走者との絆は、レース中に見られた笑顔からも感じられました。これからは抜群のチームワークで限界を越えていく姿をまだまだ見せてくれるでしょう。

東京パラリンピックが終わったばかりのように感じますが、次のパリ大会までは2年を切りました。パリ大会の参加標準記録の有効期間は10月1日以降の記録が対象となるため、ここから選手たちのギアもまた上がっていきそうです。

なお、強化選手以外にも18名のブラインドランナーがエントリーし、夏マラソンに挑戦しました。

かすみがうらマラソン兼 国際ブラインドマラソン2022

茨城の地で3年ぶりに「かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソン2022」が4月17日（日）に開催されました。30年を超える歴史を持ち、1995年にブラインドの部を併設、2010年には国内で唯一のIPC公認大会となるなど、日本におけるブラインドマラソンの普及に大きく貢献してきた本大会。5km、10マイル、フルマラソンと3部門に分かれ、トップ層の選手だけでなくファンランのランナーにも広く門戸が開かれています。今大会にも100名を超えるブラインドランナーがエントリーし、それぞれのゴールへ向かって汗を流しました。

男子フルマラソンの部を制したのは、今回が本大会初参加となった堀越信司選手（T12、NTT西日本）。「2時間20分切りを見据えながら自己ベストを狙っていきたい。仮想パリパラリンピックとして、全体の中で先頭集団で戦いたい」と意気込み臨みました。前半は落ち着いてペースを維持しレースを進め、「20kmから動きが良くなった」と自身でも振り返ったように、レース後半にかけて太陽が照り気温が上昇する中、30kmを超えてからも粘りの走りを見せました。総合順位でも4番目で競技場へ姿を見せるとアジア記録、そして自身のベストを更新する2時間21分21秒で歓喜のゴールテープを切りました。

女子マラソンの部を制したのは近藤寛子選手（T11、滋賀銀行）。前半のアップダウンの疲れもあつてか、後半ペースを落とし自身のベスト記録には届きませんでしたが、3時間16分33秒でフィニッシュ。表彰式では伴走を務めた山口遙さんとともに柔らかな表情を見せ、大会を笑顔で終えました。

大会結果マラソン上位3位のみ

(順位/記録/選手名/クラス/伴走者)

男子

1位	2:21:21	堀越 信司	村山 タツ	T12	
2位	2:27:32	熊谷 豊	久保 功	T12	
3位	2:45:44	米岡 聡	林 柁	T11	柳澤 威臣 / 井水 啓人

女子

1位	3:16:33	近藤 寛子	中野 ヒロ	T11	山口 遙
2位	3:17:46	西村 千香	三浦 功	T12	田端 久嗣 / 庄司 彰義
3位	3:25:52	藤井 由美子	吉田 功	T12	前田 寛 / 武田 浩志



自己ベスト更新し優勝! 堀越信司選手

今後の伴走研修会予定

ブラインドマラソン体験講習会

日時…2022年11月5日(土)

会場…東京都江東区有明スポーツセンター

主催…有明スポーツセンター

協力…日本ブラインドマラソン協会

お問い合わせ…有明スポーツセンター

03-3528-0191

鳥取研修会

日時…2022年10月15日(土)

会場…鳥取県倉吉市立杜小学校体育館

主催…白うさぎB&G

共催…日本ブラインドマラソン協会他

協賛…公益財団法人山田昇記念財団

お問い合わせ…白うさぎB&G

岡山研修会

日時…2023年1月22日(日)

会場…岡山県岡山市立内山下小学校跡体育館

主催…ももたろうパートナーズ

共催…日本ブラインドマラソン協会他

協賛…公益財団法人山田昇記念財団

お問い合わせ…ももたろうパートナーズ

第2回東京研修会

日時…2023年2月または3月

会場…未定

主催…日本ブラインドマラソン協会

協賛…公益財団法人山田昇記念財団

お問い合わせ…日本ブラインドマラソン協会

※日時・場所が決まりましたら、ホームページでご案内いたします。

今後の行事予定

OSAKA EKIDEN in 長居兼

第25回全国視覚障がい者駅伝大会

開催日…2022年11月3日(木・祝)

会場…ヤンマーフィールド長居(大阪市)

詳細は、協会ホームページをご覧ください。

神宮外苑チャレンジフェスティバル

第40回JBMAユニファイドラン

開催日…2022年11月27日(日)

会場…国立競技場(東京都)

第40回の記念すべき大会となります。

詳細は、協会ホームページをご覧ください。

その他の予定

●2022年11月23日(水・祝)

第30回福知山マラソン

●2022年12月4日(日)

第53回防府読売マラソン

(第23回日本視覚障がい女子マラソン選手権)

●2023年2月5日(日)

第71回別府大分毎日マラソン

(第23回日本視覚障がい男子マラソン選手権)

●2023年3月4日(土)

日産ふれあいロードレース

編集後記

今年度は、協会活動の原点に立ち返り、協会の基盤事業であるブラインドマラソン・ウォークの普及・発展のための諸事業に取り組み始めた矢先に、新型コロナウイルス感染症の第7波に見舞われました。しかし、いつまでも手をこまねいては、大きく制限されている視覚障がい者の活動機会の回復は望めません。

会報146号では、感染対策に工夫を凝らしながら実施してきた研修事業をはじめとした協会の各種活動についてご紹介しました。

伴走・伴歩への理解者・協力者を増やし、全国どこでも伴走の協力が得られる環境を目標に、今後も各種普及・啓もう活動を続けていく所存です。

伴走研修会等の開催について、ご要望やご相談がございましたら、事務局までご連絡ください。

皆さまが新しい生活様式の中で、安全で健康な生活を送ることができますよう祈念いたします。



この会報は、日本財団パラスポーツサポートセンターの助成を受けて作成しています